

コロナ感染症対策と支援について 校則について

徳野 衆 議員

問 ①学校で感染者が出た場合、他の市町村ではクラス全体を検査対象とする独自の取組みがあるが、本市はどうか？緊急事態宣言等の地域に通勤通学されている方の自主検査に他市町村では費用補助があるがどうか？②文科省の通知にあるような、校則を生徒が主体的に決め、変えられる仕組みづくりを本市はどう取り組むか？

答 ①家庭での自費のPCR検査への補助や、学校での検査拡大については、保健所が、判断し検査が進められており、独自での拡充は考えておりません。②学校アンケート等により生徒の小さな意見でも、生徒会、教員が共に協議するような仕組みと、生徒が自分も学校の一員であるという意識を持てるような環境作りを進めます。

新型コロナウイルス感染症に対する支援 の拡充について

福田 浩実 議員

問 ①自宅療養者への見守りや生活物資配布などを感染者のみならず妊婦や産婦、PCR検査後の待機者等に対象を拡大しては？②妊婦と若年層の優先ワクチン接種及び啓発活動と正しい情報発信を要望しますがお考えは？③生理用品無償配布事業を提案し、実施されましたが成果と今後の継続的な配布は？

答 ①買い物代行支援ではサービス対象者以外の方でも、直接事情をお聞きする中で柔軟な判断をいたします。②集団接種において妊婦と若年層の優先枠を設けます。ホームページやLINE等を活用した広報、啓発に努めます。③非常に好評をいただきました。今後は感染状況と経済状況に合わせて考慮してまいります。

補聴器購入費助成について 豪雨災害対策について

上田 健二 議員

問 ①高齢者が社会で活躍、働いていくとき、補聴器は必需品となりつつありますが、本市としてどういう対応が可能ですか。②豪雨災害時、警戒レベルが低くても避難しなければならない方や、長期避難所の確保、避難困難地域を自治会や自主防災組織を通して把握する必要がありますが、市の考えは？

答 ①他市町村での補聴器の補助制度につきまして、引き続き情報収集と調査研究を行いながら、公的補助制度の創設を国へ要望してまいりたいと考えております。②災害警戒区域にお住まいの方々の知見も参考にしながら、今後の対策につきまして、調査・研究を行ってまいりたいと考えております。

将来を見据えたまちづくりについて

吉川 幸喜 議員

問 少子高齢化、人口減少、新型コロナウイルス感染症など新庁舎完成後の困難な時代にあって将来を見据えたまちづくりや都市計画についてソフト面・ハード面でどのような施策を進めていくのかお聞きしたい。

答 社会状況が大きく転換した時代を迎え本市が将来も活力を維持するための施策に取り組んでいます。ソフト面では立地適正化計画に基づき既成市街地の空き家・空き地の利用を促進するほか、物件のリノベーションを担う人材育成に努めています。ハード面では、近鉄郡山駅周辺地区のまちづくりを推進しながら、近鉄平端駅周辺など各地区の特徴に応じた施策に取り組んでいくもので、市民が今後も住み続けたいと思うまちづくりを目指します。

コロナ禍における学校教育について

乾 充徳 議員

問 コロナ禍において、児童・生徒達が安心して学校生活を送れるために感染症対策や学習支援をどの様に取組みをされているのかお答えください。

答 現在のところ、感染状況に応じて「感染症対策を講じてもおな感染リスクが高い活動」といわれる部活動や特別活動などについて、一時的な制限をしています。家庭とも連携し、校内でのすべての飲食の場で、席の配置や飛沫防止パーテーションの設置にも取り組んでいます。児童・生徒の学習保障と心のケアを最優先に考え、子どもたちの「学びの場」としての学校は閉めず、授業のリモート配信等のオンライン学習も行いながら、児童・生徒の学びを止めないように取り組んでいるところでございます。

コロナ禍の高齢者の健康増進と子どもの 学習について

西村 千鶴子 議員

問 ①コロナ禍の外出自粛による高齢者の健康二次被害を防ぐためのフレイル予防施策は？
②子どもの感染拡大での欠席者や学級閉鎖などによる学習格差の出ない学習体制や、心のケアのための対応は？

答 ①通いの場へ、新たにリハビリ専門職や看護師等の医療従事者を派遣し、楽しみながら、そして専門的な見地から、フレイル予防と感染予防を正しく理解し、実践できるよう取り組んでまいります。②学級閉鎖があっても、オンライン学習や学校サポーターにより学級間での差がでないように努めます。心のケアについては、アンケート等を実施し、スクールカウンセラーのスクリーニングを行い、精神的なフォローに努めております。